



令和 2 年 1 月 3 1 日

「放射線災害・医科学研究拠点」が県民公開大学（郡山）と
国際シンポジウム・ワークショップ（広島）を開催します

広島大学、長崎大学、福島県立医科大学によって平成 28 年 4 月に設置されたネットワーク型拠点「放射線災害・医科学研究拠点」は、令和 2 年 2 月に「第 4 回ふくしま県民公開大学」を福島県郡山市で、「第 4 回国際シンポジウム」・「第 1 回ワークショップ」を広島市で開催します。

第 4 回ふくしま県民公開大学（主管校：福島県立医科大学）

日 時 : 令和 2 年 2 月 9 日（日） 13:00~15:15
場 所 : 郡山市中央公民館（福島県郡山市麓山一丁目 8-4）

「ふくしまで歩む 未来へつなぐ」をテーマに、拠点内で実施している共同利用・共同研究の成果発表等を県民の皆さんと共有することにより、今後の復興の一助とすることを目指します。

第 4 回国際シンポジウム（主管校：広島大学）

日 時 : 令和 2 年 2 月 12 日（水） 10:00~18:40
場 所 : 広島大学広仁会館（広島市南区霞 1-2-3）

「How can we communicate possible health effects in radiological emergency?（放射線緊急時において生じ得る健康影響についてどう伝えるか?）」をテーマに、アメリカ、オーストリア、スイスなどの研究者を交え、講演やセッション、ポスター発表を行います。

放射線や関連諸科学の分野で世界的に著名な研究者による最先端の学術成果を踏まえ、更なる放射線災害・医科学研究の学術的基盤の確立を目指します。

第 1 回ワークショップ（主管校：広島大学）

日 時 : 令和 2 年 2 月 13 日（木） 9:00~12:45
場 所 : 広島大学広仁会館（広島市南区霞 1-2-3）

全国の関連研究者から公募した共同利用・共同研究課題や 3 拠点機関が大学の枠を超えて連携し新たな課題に取り組んでいるトライアングルプロジェクトの成果発表に加え、ネットワーク型共同研究拠点間の連携に関する講演発表を行います。

【お問い合わせ先】

広島大学霞地区運営支援部総務グループ
放射線災害・医科学研究拠点本部事務局
Tel: 082-257-5186
Fax: 082-255-8339

第4回
ふくしま県民公開大学

～ふくしまで歩む
未来へつなぐ～

日時 2020年

2月9日(日)

開場:12:30 開始:13:00 終了:15:15(予定)

会場 郡山市中央公民館 多目的ホール

(住所:〒963-8876 福島県郡山市麓山一丁目8-4)

主なプログラム

●セッション1 ふくしまで歩む

①筑波大学 准教授 五十嵐 泰正氏
『食』から考える原発事故後の市場と社会

②郡山女子大学 准教授 岡部 聡子氏
『小学生の『食選択力』の育成』

●セッション2 未来へつなぐ

①福島県立医科大学 助教 石井 佳世子氏
『福島で子どもを産み育てる、お母さんへのメッセージ』

②福島県立医科大学 助教 竹林 由武氏
『福島に生きる幸せ:イキイキとした生活を支える心理学』

「入場無料」

(事前登録制)

一般市民・学生・医療関係者
行政関係者の参加を
お待ちしております。

定員 300名 申込締切
2020年2月5日(水)
定員に達した場合は、締切日前に受付を終了させていただきます。

申込方法

お申し込みはホームページより▶
<https://www.fmu.ac.jp/univ/inv/>



問い合わせ先

福島県立医科大学 医療研究推進課 研究推進係

電話:024-547-1794 FAX:024-581-5163

主催 放射線災害・医科学研究拠点



公立大学法人
福島県立医科大学



広島大学



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

共催 SDGs未来都市 郡山市 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

後援 福島県、一般社団法人福島県医師会、公益社団法人福島県看護協会、福島民報社、福島民友新聞社

The 4th International Symposium of the Network-type Joint Usage/
Research Center for Radiation Disaster Medical Science

How can we communicate possible health effects in radiological emergency?

February 12, 2020

Koujin Conference Hall on
Kasumi Campus,
Hiroshima University

Keynote Lecture

Malcolm Crick (Austria)

Session 1

Radiation casualty medicine

**Tom K. Hei (USA)
Koichi Tanigawa
Kiyoshi Miyagawa**

Session 2

Low dose radiation effects and health risk study

**Akira Ohtsuru
Takayuki Kadoya
Masahiro Nakashima**

Session 3

Social impact of a radiation disaster and radiological protection studies

**Bradley Hamm (USA)
Sae Ochi
Zhanat Carr (Switzerland)**

主催

ネットワーク型共同利用・共同研究拠点
放射線災害・医科学研究拠点
広島大学原爆放射線医科学研究所
長崎大学原爆後障害医療研究所
福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター

後援

放射線被曝者医療国際協力推進協議会 (HICARE)
長崎・ヒバクシャ医療国際協力会 (NASHIM)

お問い合わせ先

放射線災害・医科学研究拠点本部事務局
(広島大学霞地区運営支援部総務グループ)
Tel: +81-(0)82-257-5186
Fax: +81-(0)82-255-8339
E-mail: housai@hiroshima-u.ac.jp
<http://home.hiroshima-u.ac.jp/housai/>